

高校部 高2英語(読解)3月分フォローコンテンツ

【テーマ】

補語の理解を深める

【目標】

- ・ C を的確に指摘できるようにする
- ・ C=名詞の場合と形容詞の場合の違いを明確にする

問 構造をとって和訳せよ

A 4. What am I to do next ?

((NOTES)) be + toV.「イカギョウザ」として扱われてきたものも、文型としてはSVCである。なお、このときの toV.を「不定詞の名詞的用法」「不定詞の形容詞的用法」のいずれとするかについては探究しないのが約束。訳せればよい。

A 5. The trouble is that he is not at all smart.

((NOTES-1)) 名詞節もむろんCとなりうる。

((NOTES-2)) この文の構造はSVCであるから、「その問題は～だ」と訳出するのが基本だが、意味の上では、The trouble is that よりも、he is not at all smartの方が中心と感じられる。このようなものは、先頭部分を副詞的に訳すと自然な感じになる。ただし、あくまでも構造上はSVCであることに留意されたい。

ex)The trouble is that...	: その問題は…△→困ったことには…○
The result [consequence] is that...	: その結果は…△→その結果…○
The fact is that ...	: その事実は…△→実は…○

A 6. She is not what she used to be.

((NOTES)) [関係代名詞 what+SVX] は全体として必ず「名詞」として働く。したがってCになりえる。関係代名詞 what=先行詞+関係代名詞であったことを想起されよ。

b) C = 形容詞(相当語句)

A 1. All of them appeared very merry and good-humored.

((NOTES)) SVCの基本文である。形容詞 **merry and good-humored** をCと見ることができればよい。このようにCになっている形容詞を「叙述用法の形容詞」と言う（ちなみに名詞を修飾している形容詞は「限定用法の形容詞」と言う）。

ところで、一般的にはこのとき「S=Cの関係があるから、SVCの文」とするのであるが、講師は「SハCデアル」「SハCスル/Cサレル」という**主述関係**がある、と考えることも勧める。つまり、この文と **I am a boy.** を比べたとき、**I = boy** ほど、**all = merry and good-humored** とは考えられず、キッチリとS=Cになっている、というよりはむしろCがSをゆるやかに説明している、と考えるべきであろう。

従って、Cを判別する際に我々が繰り返し学んできた「S=C」をいちおう認めた上で、講師は「**SハCデアル**」「**SハCスル/Cサレル**」という「**主述関係 (SP関係)**」がある場合も**SVC判別の基準**として、提案したい。そして、このことが理解されれば後のSVOの議論がまことに判り易くなるのである。要は、「S イコール C」というより「SハCデアル (主述関係・SP関係・ネクサス)」とした方がいい、ということだ。

A 2. The natives go naked all the year.

((NOTES)) 訳出に工夫が必要である。

A 3. All the efforts of the doctors were of no avail.

((Further Exercise)) of avail を一語で言い換えよ。

((NOTES)) [前置詞+名詞] は形容詞または副詞である。したがってCになりえる。この点は特に盲点になりやすいので要注意。

A 4. A young child lay sleeping in a cradle near the fire.

((NOTES)) 現在分詞(...ing)がCとなっている。lay を was に代えれば「進行形」である。従って [be + ...ing = 進行形] とは、SVCのVがbe動詞である場合を特にそう呼んで、「...シテイルトコロダ」と訳す「お約束」に過ぎない。あくまで英文構造上はSVCである

ことを徹底確認せよ。[S=C] [SハCdeal] の関係を把握しておくことがもっとも優先されなくてはならない。

Vが **be** 動詞でなく一般動詞の場合には訳出に工夫が必要である。Cを「副詞的」に訳出しようとしてみたらどうだろうか。

A 5. She stood there smiling and smoothing her hair.

((Further Exercise))

A 5. はS Vと考えることもできる。となると、**smiling and smoothing** の文法上の働きは何だろうか。

A 6. The boys and girls grew more and more excited by the soccer game.

((NOTES-1)) A 4, A 5における現在分詞が「過去分詞」になっただけで、考え方はまったく同じである。あくまでも、[S=C] [SハCdeal] の基本線が理解されればよい。Cが過去分詞のときに重要なのは、SとCの間に「受身的関係：SハCサレル」があることだ。

((NOTES-2)) 「S:subjective—P:predicate 関係を発見し、S Pが能動的关系であれば、Pは...ing または動詞の原形または toV, 受動的関係であれば、Pは p.p. (但しPが他動詞のとき)」。準動詞における議論の最重要点はたったこれだけ。

【解答】

A 4. What am I to do next ?

V S C 「私は次に何をすべきですか？」

A 5. The trouble is [that he is not at all smart.]

S V C S' V' C' 「困ったことに、彼は全く賢くない」

A 6. She is not [what she used to be].

S V C S' V' 「(今の)彼女は、以前の彼女ではない」

A 1. All of them appeared very merry and good-humored.

S V C 等・接 C 「彼らは皆、とても明るく陽気に見えた」

A 2. The natives go naked <all the year> .

S V C 「その原住民は1年中裸で過ごす」

A 3. All the efforts (of the doctors) were (of no avail).

S V C 「その医者たちの努力は全くの無駄だった」

A 4. A young child lay sleeping <in a cradle near the fire> .

S V C 「赤ん坊が暖炉の近くのゆりかごで寝ていた」

A 5. She stood there smiling and smoothing her hair.

S V C 等・接 C

「彼女はそこに立ち、微笑み自分の髪をなでていた」or「彼女は微笑み、髪をなでながらそこに立っていた」

A 6. The boys and girls grew more and more excited <by the soccer game> .

S 等・接 S V C

「その男の子と女の子たちは、サッカーの試合にどんどん興奮していった」